

平成13年度

ソフト開発研究委員会報告書

平成14年3月

ソフト開発研究委員会
(事務局 西遠総合教育センター)

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

はじめに

今日の世界は、まさに「激変の21世紀」にあります。例えば、IT（情報技術）革命による社会の急激な変化への対応は、我が国においても重点課題の一つとなっています。学校教育もまた、IT革命への対応を迫られています。既に示されたミレニアム・プロジェクト（教育の情報化）により、平成17年度までに、全ての教室において授業に活用できるようにするためのコンピュータの整備やインターネット接続等が着々と進められています。新たに、14年度からは、概ね全ての公立学校教員がコンピュータを活用して指導できるようにすることとしています。新学習指導要領でも、情報教育を一層重視したものとなっているのは周知のことです。

西遠地区3市6町においても、子どもたちに高度情報通信社会で主体的に生きる力となる情報活用能力等を育成できるように、先進的教育用ネットワークモデル地域事業や次世代ITを活用した未来型研究開発事業、あるいは、各市町独自のIT関連事業等を推進して、ハード面・ソフト面の整備に尽力されています。

そのような中、西遠総合教育センターは、開設以来、教育機器の活用・情報教育の推進にかかわる先進的研修センターとして重要な役割を果たしてきました。その中で、ソフト開発研究委員会は、これまでに、教科教材のソフト開発、そして、地域素材のデータベースの充実とネットワーク化に対応した事業等に取り組み、情報教育にかかわるソフト面の基盤づくりに努めてきました。平成13・14年度は、西遠地区にある施設や史跡について調査し、子ども向けのホームページを作成して配信することとしました。

ところで、平成13年11月5日付け文部科学省通知「義務教育諸学校の教材整備について」の別添2では、「これからの教材整備の在り方」について、学校の自主性・自立性の観点からは、市販教材を使用するだけでなく、教員自らの創意工夫により開発・制作した、いわゆる「手作り教材」を授業に取り入れることも必要であること、また、「生きる力」の育成の観点からは、コンピュータ等の情報手段の活用を一層推進することが重要とされると指摘しています。更には、子どもたちが自分たちの学習のために教材を使うという観点（発表する、実際に使う、体験するなど）に、各学校が十分に配慮していくことを促すようにすることが適当であると述べています。

このことは、ソフト開発の趣旨に合致いたします。そして、ソフト開発が、前述の「これからの教材整備の在り方」を先取りするものであり、改めてその取組の意義の深さを感じるものです。各研究委員は、子どもたちがコンピュータを活用して自ら選定した施設や史跡に出向いて行きたくなるような、魅力あるホームページの作成に邁進してきました。

ここに、第一年次の研究の結果をとりまとめ、報告いたします。

ソフト開発に当たり、御支援御協力を頂きました西遠地区3市6町の教育委員会・関係機関の皆様、直接御指導くださいました西遠総合教育センターの館長・指導主事の皆様、そして、開発に携わった研究委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成14年3月

ソフト開発研究委員会会長 武藤英雄

目 次

はじめに

I ソフト開発研究委員会のあゆみ	1
II 調査研究の経過	2
III 研究の内容	4

おわりに

平成13年度ソフト開発研究委員会名簿

I ソフト開発研究委員会のあゆみ

これまでに当委員会で開発したソフトは次のとおりである。

年	作成したソフトのタイトル
4	作文の学習 (中・国語) 関数 (中・数学) ◎木材加工 (中・技術家庭) 英語 1年 (中・英語) 統計処理ソフト (中・CMI) 拡大図と縮図 (小・算数)
5	分数黒板同じ大きさ (小・算数) ひまわり画像再生 (小・理科) 天体シミュレーション (小・理科) ローレル (その他) 天才ジャック (その他)
6	枕草子 (中・国語) 分子の運動 (中・理科) 遺伝 (中・理科) パターンデザイン (中・美術) World Game (中・英語) ◎歴史データベース (小・社会) 統計処理ソフト (小・CMI)
7	◎地理データベース (中・社会) 正の数・負の数 (中・数学) ☆分子の運動 (中・理科) ☆くるりん (中・美術) 応急処置 (中・保健体育) うつつ君 (中・英語) ☆統計処理ソフト (小・CMI)
8 9 10 11	地域素材データベース (社会科) 8年度 ◎わたしたちの浜北市 9年度 ◎わたしたちの浜松市 10年度 ◎わたしたちの新居町 11年度 ◎わたしたちの湖西市 ※ 上記3市1町以外の5町のデータベースは別事業で作成 小学校区の地図
12	地域素材データベース (理科) ◎西遠地区の地質サンプル画像と柱状図

◎外注ソフト ☆改訂版

II 調査研究の経過

全体会	企画委員会	専門部会			
		浜松市 浜松城跡	浜北市 大カヤノキ	湖西市 本興寺	湖西市 豊田佐吉生家跡
5月11日 15:00-16:30 新委員委嘱 状交付	5月11日 14:00-15:00 ソフト開発研 究の方針検討 今年度の研究 方針の協議	8月21日 浜松城跡見 学 8月22日 写真撮影と 天守閣管理 者への取材 8月27日 取材した資 料のまとめ	8月5日 大カヤノキ 調査 8月10,13日 教育委員会 へ取材 8月23日 ワークシー ト作成 9月6日 教育委員会 生涯学習課 へ写真の借 用 9月12日 大カヤノキ 撮影 9月16日 資料まとめ 10月2日 浜北市教育 委員会へ写 真の返却 10月5日 ワークシー ト修正	8月17日 本興寺取材 8月20日 本興寺見学 10月16日 資料まとめ 12月10日 資料編集	8月23,24日 豊田佐吉記 念館へ取材 9月20,21日 映像処理 10月9,10日 映像と文書 処理 11月23日 豊田佐吉記 念館へ取材 12月2日 豊田佐吉記 念館へ取材 12月10日 児童用ワー クシート作 成 12月12日 児童用ワー クシート作 成 12月13日 作品点検
1月18日 15:00-16:30 作成したソ フトについ ての協議					

専門部会

舞阪町 舞坂宿脇本陣	新居町 新居関所	雄踏町 町立図書館	細江町 歴史民俗資料館	引佐町 天白磐座遺跡	三ヶ日町 姫街道
6月17日 脇本陣の 見学，資料 入手	7月1日 新居関所及 び史料館の 現地見聞	8月1日 町立図書館 (郷土資料 室) 見学	6月9日 資料館友の 会の活動に 参加 「犬くぐり 道」の調査	8月13日 天白磐座遺 跡見学・取 材	12月8,9日 町立図書館 にて資料収 集
6月20日 教育委員 会訪問，資 料入手	8月上旬 新居関所・ 近世交通史 関係書籍研 究	9月22日 郷土研究家 への取材	7月28日 資料館友の 会の活動に 参加 「犬くぐり 道」の調査	8月27日 天白磐座遺 跡見学・取 材・写真撮 影，教育委 員会見学・ 取材・出土 遺物写真撮 影	12月20日 教育委員会 にて資料収 集
8月10日 現地写真 撮影。	8月下旬 関所史料館 職員への取 材・ヒアリ ング	10月 資料まとめ	10月13日 「井通り遺 跡」の発掘， 体験学習に ついて取材	8月29日 写真撮影	12月22日 姫街道資料 館にて資料 の見学，児 童用・教師 用ワークシ ートの作成
10月27日 ワークシ ート作成	9月 資料まとめ		10月14日 資料まとめ	10月16日 教育委員会 取材	12月23日 児童用・教 師用ワーク シートの作 成
	10月 調査データ 入力		10月21日 資料作成作 業	10月20日 資料まとめ	12月24日 三ヶ日町内 の姫街道を 取材・写真 撮影
			10月28日 資料作成作 業		12月25日 資料まとめ

Ⅲ 研究の内容

国は、教育情報化ナショナルセンターを設立し教育の情報化を積極的に進めている。コンピュータを学習利用していくためには良質なコンテンツが必要になる。そうした学校のニーズに応えるため、今後は教育情報化ナショナルセンターを中心としてコンテンツが整備されていくことになっている。

しかし、国が整備するのは全国で共通利用できるものであり、地域で必要とされるものは地域ごとに開発していかなければいけない。そこで、当センターにおいても、これまでも社会科（社会科副読本）、理科（地質）のデータベース化を行ってきた。本年度についても、地域の特性を生かしたコンテンツ開発を行った。

以下、各部会ごとの報告をする。

1 企画委員会

企画委員会では、昨年度までの活動を反省し、本年度の研究の方向性を協議した。

その結果、平成13、14年度の2カ年間で西遠地区9市町にある社会教育施設、遺跡等を素材にした学習コンテンツを研究開発していくことにした。

2 専門部会

地域を題材とした学習は社会科だけでなく、総合的な学習の時間の創設によってこれまで以上に多くの場面で見られるようになってきた。

そこで、西遠地区の9市町から社会教育施設、遺跡等を各2カ所ずつ選出してもらい、計18カ所（表1）について学習コンテンツを作成することにした。

表1 学習コンテンツ一覧

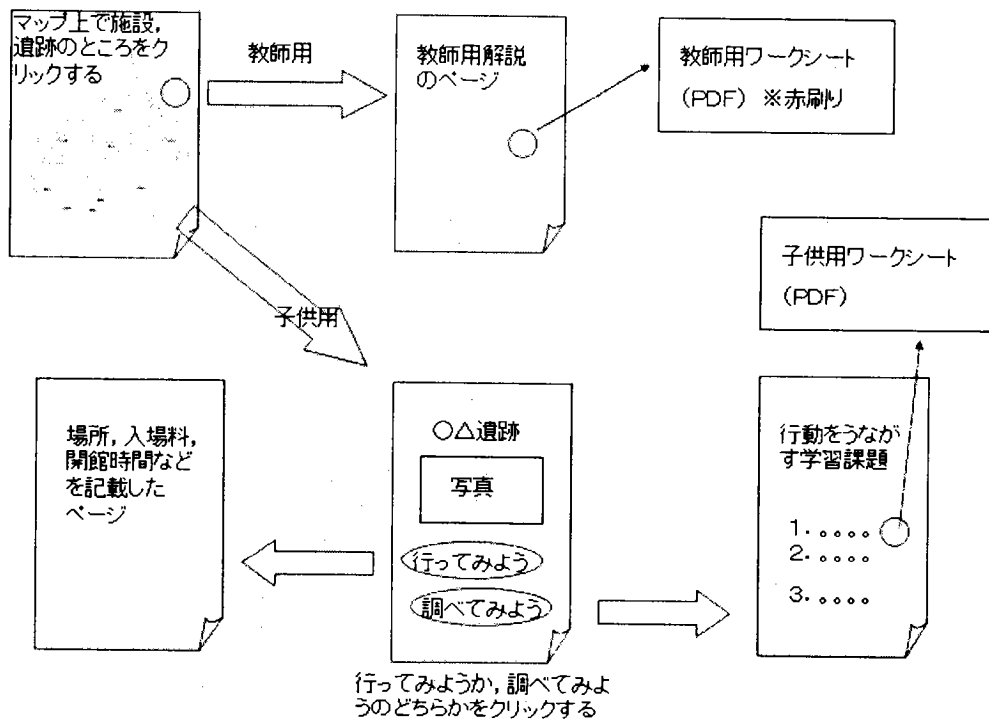
(地区)	(施設、遺跡名)	(作成年度)
浜松	浜松城跡	13
浜松	蜷塚遺跡	14
浜北	赤門上前方後円墳	14
浜北	北浜の大カヤノキ	13
湖西	豊田佐吉生家跡	13
湖西	本興寺	13
舞阪	舞坂宿脇本陣	13
舞阪	舞阪町立郷土資料館	14
新居	新居関所	13
新居	旅籠「紀伊国屋」	14
雄踏	町立図書館（郷土資料展示室）	13
雄踏	古橋廣之進顕彰碑	14
細江	陣座谷古墳、銅鐸公園	14
細江	姫街道歴史民俗資料館	13
引佐	天白磐座遺跡	13

引佐	北岡大塚古墳	1 4
三ヶ日	姫街道	1 3
三ヶ日	瓦塔遺跡	1 4

学習コンテンツは、Web 上で情報を提供するだけでなく、実際に社会教育施設や遺跡に学習者が行くことを目的としている。そのため、次のような構成とする。

- ・西遠地区の地図のページ…地図上に施設、遺跡へのリンクが張られている。
- ・子供用の入り口のページ…「行ってみよう」、「調べてみよう」のページにリンクが張られている。
- ・行ってみようのページ…場所、入場料、開館時間が記載されている。
- ・調べてみようのページ…行動を促す学習課題が提示されている。学習課題一つについて子供用ワークシート（PDF 形式）が用意されており、そのまま印刷して用いることができるようになっている。
- ・教師用解説のページ…施設や遺跡についての詳細な解説が記載されている。また、教師用ワークシート（PDF 形式：子供用ワークシートの赤刷り）へリンクが張られている。

コンテンツの概要



なお、子供用の部分については、使用する漢字、言い回しについては小学校5年生程度のものにした。

北浜の大カヤノキ

北浜の大カヤノキの調査は、浜北市教育委員会生涯学習課に問い合わせをしながら進めた。

北浜の大カヤノキ

行ってみよう

場 所	浜北市本荘台524
交通手段	遠州鉄道小浜駅から徒歩約10分 (浜北市立長瀬小学校から徒歩約100m)
入 場 料	無料
見学時間	特に決められてはいない
その 他	木の根本の周りに柵がしてあり、柵の中には入れない。 入場の際は1本だけ立っている。
問い合わせ	浜北市教育委員会 生涯学習課 = 053 (586) 6201

調べてみよう

- 1 天然記念物って何？
- 2 木の高さはどれくらい？
- 3 どれくらいの大きさかな？
- 4 大カヤノキの葉や実って？

「行ってみよう」は、場所・交通手段・注意点など見学するときに必要な内容を一覧表にした。

「調べてみよう」では、子供たちが、『行って見てみたい。調べてみたい。』と興味や関心をもって取り組めるような項目の4つに絞った。

北浜の大カヤノキは、国指定天然記念物である。〈1 天然記念物って何？〉では、その意味を知ることから始められるようにした。〈2 木の高さはどれくらい？〉では、子供たちが一番興味を持ちそうな木の高さを、図形や比・縮尺を利用した考え方等で考えられるようにした。〈3 どれくらいの大きさかな？〉では、木の写真を載せ、大きさの予想をしてから、実際に見て考えたり、具体物を利用して測定ができるようにしたりした。

〈4 大カヤノキの葉や実って？〉では、大カヤノキについてももう少し詳しく調べるために常緑の葉、花、食べられる実について調べられるようにした。スケッチできる枠も設けた。

4 大カヤノキの葉や実って？

1 葉の葉の形をかいてみよう。	2 葉の葉を見て実が何だか分かることを書こう。
3 どの葉の葉がひっそりかいてみよう。	
4 大カヤノキの葉はどんなものに似ているか。	



3 どれくらいの大きさかな？

調 べ 内 容	予 想	実 際 測 定
1 木の高さは？	〃	〃
2 根本のまわりの高さは？	〃	〃
3 葉のまわりの高さは？	〃	〃
4 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
5 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
6 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
7 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
8 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
9 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
10 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
11 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
12 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
13 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
14 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
15 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
16 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
17 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
18 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
19 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃
20 葉の葉の長さ(1枚)は？	〃	〃

木の根本の周りに柵がしてあり、無断で中に入れないようになっているため、活動が限られてくるが、子供たちの思いを大切にした調査活動ができるようにとワークシートを作成した。

本興寺ホームページ

(1) 本興寺とは…

寺域 26000 坪余り，三方を山に囲まれ，春は桜，みやまつつじ，秋は紅葉と四季折々趣があり，国の重要文化財の本堂を始め，惣門，客殿，大書院等多くの国，県，市指定の貴重な文化財を保有している。

場 所	湖西市鷺津（わしづ）384
交通手段	JR 東海道本線「鷺津（わしづ）駅」から徒歩約10分 バス利用の場合 遠鉄バス湖西市役所行きに乗り 「本興寺」下車徒歩1分
入 場 料	宝物殿（ほうもつでん） 大人300円 子供200円 団体 大人200円 子供150円
見学時間	年中無休 9:00～16:00
問 い 合 わ せ	053-576-0054

(2) 本興寺の歴史

永徳3年（1383年）に，日乗聖人を住僧として開山された法華宗の寺である。
戦国時代＝今の静岡県を治めていた今川氏を始め，多くの豪族に保護してもらい，
東海地方の布教の拠点としての地位を占めた。

江戸時代＝徳川家康将軍から御朱印地を受け，10万石の格式を持ってぐうされ，
葵の紋の使用を許された。

(3) 本興寺の建物

本堂（国重要文化財） 惣門（湖西市指定文化財） 奥書院（静岡県指定文化財）
鐘楼堂（1674年建立） 客殿（1773年再建 かやぶきとしては東海随一）
大書院（1827年建立 谷文晁の「四季山水及びふすま絵」がある）

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www3.gara-net.co.jp/seien13/本興寺/ワークシート教師用.pdf>. The page content is as follows:

2 本興寺にはどんな建物があるの？ 氏名()

1 本興寺には貴重な建物がたくさんあります。下の写真の建物について調べてみましょう。

建物 惣門（そうもん） 湖西市指定文化財（ぶんかざい）

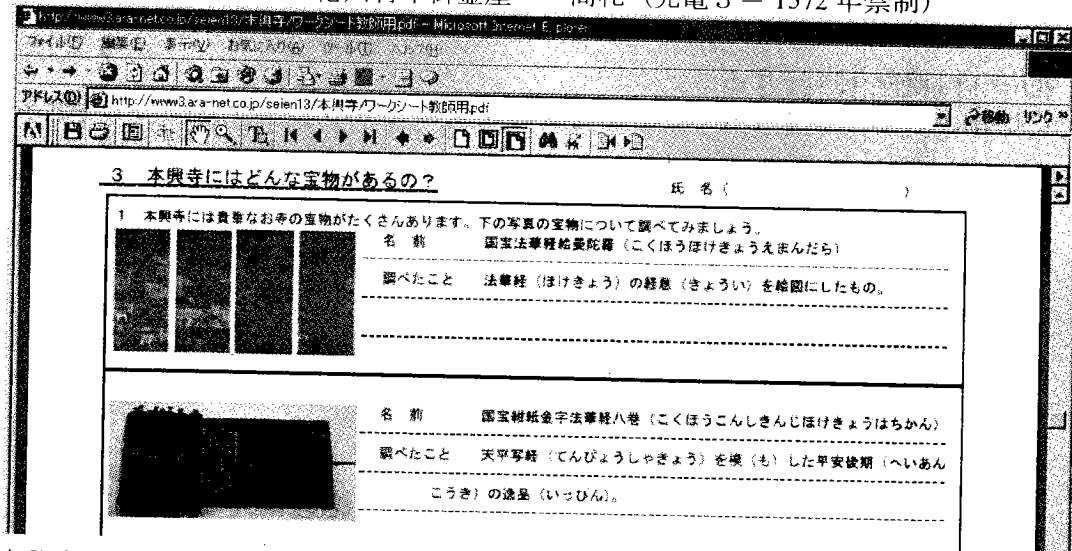
調べたこと 1674年 三州（さんしゅう）吉田城（今の豊橋市）の城門（じょうもん）で、老中（らうちゅう）久世大和守広之（くせやまののかみひろゆき）の寄付（きふ）。

建物 客殿（きやくでん）

調べたこと 1637年建立（こんりゅう）、1773年再建（さいけん）。かやぶきとしては、東海随一（とうかいずいいち）である。

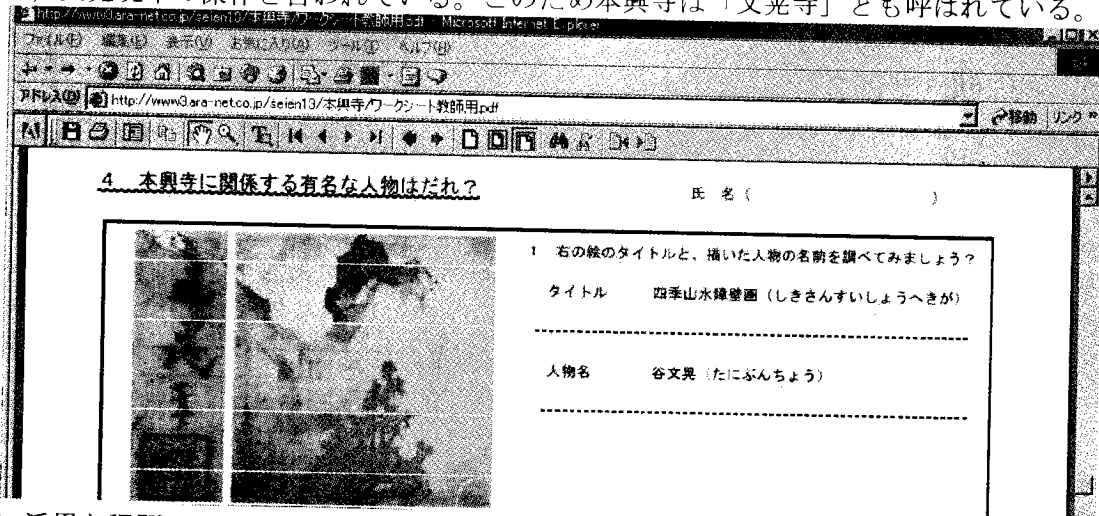
(4) 本興寺の寺宝

国宝法華経絵曼陀羅 国宝紺紙金字法華経八巻 国宝紺紙金字法華経十巻
御朱印箱と御朱印籠 徳川将軍御霊屋 高札 (元亀3 = 1572年禁制)



(5) 本興寺と谷文晁

谷文晁は江戸中期の画家で、大書院には「四季山水図」の壁画とふすま絵15面があり、文晁晩年の傑作と言われている。このため本興寺は「文晁寺」とも呼ばれている。



(6) 活用と課題

小学校6年生社会科の歴史学習における導入課題として、「身近にある歴史的文化財を調べてみよう」や、「地域の歴史を調べてみよう」等の調査学習における活用が期待される。また、歴史学習において「室町時代や江戸時代の建物や建築様式」「江戸時代の徳川将軍と幕府の成立」等の資料としても活用できる。谷文晁の作品については、江戸時代の文化についての貴重な資料となる。

全体を通して写真を多く掲載し、なるべく子どもたちが行ってみたいと思うような構成にしてみたが、地元の子供ならともかく、教科書に掲載されているような建物や人名がたくさん出てくるわけではないので、子供たちの認知度が低く、興味関心という点で不十分かもしれない。今後、より一層工夫して、子供たちの「行ってみたい・調べてみたい」という欲求を喚起させるような構成にしていきたい。

細江町立姫街道歴史民俗資料館

(1) 地域素材の調査の様子

浜名湖周辺では、約20の銅鐸が出土している。ここ細江町は、その内の9個が出土した町で、銅鐸の町として有名である。また、町内に多数の古代の古墳や集落の遺跡、関所や本陣跡を始めとする史跡が多数存在している。

「細江町姫街道歴史民俗資料館」は、このような細江町の歴史や民俗資料を展示・紹介している。また、周辺にはのどかな自然と風景が広がっており、歴史と静かな自然の香りに包まれながら探訪学習をするにも適した町である。素材の調査に当たっては、子供たちがこの資料館を拠点として周辺の史跡を訪ね歩けるような素材の選択を心がけた。

ア 「資料館友の会」の活動を追いながら

姫街道歴史民俗資料館では、各種サークル・講座を設けているその中に、子供対象の体験学習講座「資料館友の会」がある。この友の会の活動に合流する形で、取材を行った。

イ 近隣の施設を訪ねて

冒頭にも述べたように、この資料館周辺には史跡が多数存在している。そこで、資料館を訪ねてきた子供が歩いて訪ねることができる程度の距離にある史跡を訪ね、ホームページで紹介するようにした。

(2) 学習利用の仕方

細江町立姫街道歴史民俗資料館
(ひめかいどうれきしみんぞくしりょうかん)

行ってみよう
しらべてみよう

しらべて見ようのページ

1 資料館1階のてんじ室の中でいちばん大きなてんじ室は何でしょう。
2 資料館2階には、動物園でもないのにある生物のはくせいがかてんじされています。さて、その生物の名前は？
3 細江町からは、銅鐸(どうたつ)はいくつ出土しているでしょうか。(2001年10月現在)
4 資料館の入り口にかやぶきの小屋がある。その小屋は何家の小屋か？

姫街道歴史民俗資料館へ行ってみよう

「ワークシート」

(校) (年 級 番) ()

問 題	答 え
1 資料館1階のてんじ室の中でいちばん大きなてんじ室は何でしょう。	
2 資料館2階には、動物園でもないのにある生物のはくせいがかてんじされています。さて、その生物の名前は？	
3 細江町からは、銅鐸(どうたつ)はいくつ出土しているでしょうか。(2001年10月現在)	
4 資料館の入り口にかやぶきの小屋がある。その小屋は何家の小屋か？	

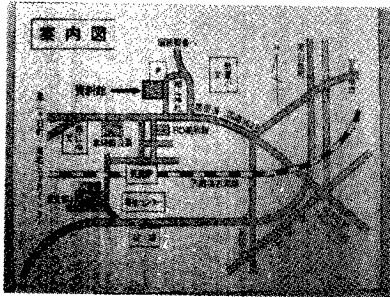
子供のページ

「しらべてみよう」をクリックすることにより、問題のページにジャンプする。ワークシートは、PDFにより印刷して使用することができる。」

「行ってみよう」のページで史料館の内容や周辺の史跡を調べることができる。

行って見ようのページ1

<行き方>



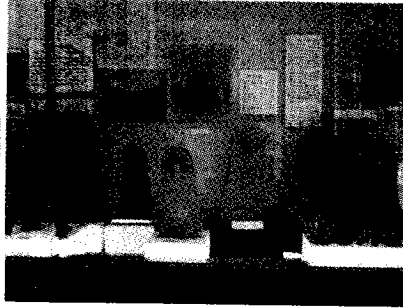
バス 気賀又は三日行きのバスで国民宿舎入り口バス停であります。あるいて、2分。

天竜浜名湖鉄道 気賀駅であります。歩いて5分。

<料金>

大人(18才以上) 150円
 子供(6歳以上18才未満) 100円
 (20人以上の団体の場合は、大人100円、子供50円)
 気賀開所とのセットチケット 大人 260円

行って見ようのページ2

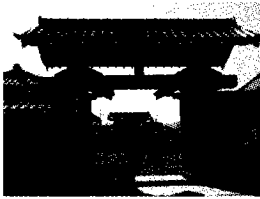


みんぞく資料館には、ボランティアの説明員の方がいます。あらかじめ、お願ひしておけば、くわしいぜよ。ぜひ利用しよう。

ほかにも、資料館の近くにはたくさんのおせきがあります。代表的なものをしょうかいするね。

- 気賀開所(きがせきしょ)
- 細江神社(ほそえじんしゃ)
- 細江公園(ほそえこうえん)
- 犬くぐり道(いぬくぐりみち)

気賀開所(きがせきしょ)



資料館から歩いて5分。気賀駅のすぐ近く。昔の開所ではどんな遊ばせをしていたのか。築街道のみみつもわかるかも。

犬くぐり道(いぬくぐりみち)



細江町は、開所町です。でも、開所町にしろす人はちよっとおんた思ひ遣せんか。たつて、おんたの裏に下へ。にも、開所より身や高へいおためには、開所も通らなければならぬのですから。そのおと、高が讀くを歩いておたのでしたまらざらぬ。いんたい。人はそのおんたをさざお読み解、しているもので、そのお読みおのたのくぐり道にあらうです。講べたり歩いてみたりするのをおおし、てすな。

(その他の操作)

ここに例として載せたものは、初期のメニュー画面より子供用を選択したものである。教師用を選択することにより、さらにくわしい説明やワークシートの解答や指導上の留意点を見ることができる。

(3) 今後の課題

今回は、史料館を拠点とした町の歴史探訪をテーマに資料を作成してみた。しかし、実際に子供が学習の行動を起こすためには、調査のアドバイスをしてくれる人の存在が不可欠である。そうした説明員等の連携を図っていく必要があると考える。

お わ り に

社会の情報化の動きは、日々速度を増し、さまざまな情報機器が我々の生活のいろいろな場面において、なくてはならないものになってきています。数年前までは、Everything on Computer（マルチメディア）であったものが、今や既にComputer on Everythingの時代に入ろうとしています。携帯電話でインターネットを行うことは当たり前、次世代携帯電話では、電話機で買い物をしたり、定期券の代わりにしたりすることも可能になるでしょう。

一方、文部科学省の21世紀教育新生プランでは、ミレニアムプロジェクトの実現と、新世代型学習空間の創造を期待しています。これは、大容量のインターネットで各教室が結ばれた情報環境の整備とそれを駆使した新しい授業の創造の実現を期待したものです。また、来年度から完全実施される新学習指導要領では、すべての教科等の指導において、児童生徒がコンピュータ・情報通信ネットワーク等の情報手段を積極的に活用しながら、主体的に学び考え、自分の意見を積極的に主張して授業に参加できるような学習活動を充実すべきことが期待されています。

こうした状況下で、今、生活や学習を支えるコンテンツの整備や高度情報通信社会へ参加する態度の育成が早急に求められてきています。

西遠総合教育センターは、3市6町村の教育のセンターとして、教職員の理科教育、情報教育の推進に努めてきました。その中で、ソフト開発研究委員会は、「学習指導要領に基づく学習指導でのパソコンの活用方法及び必要・有効なソフトについての調査研究し、教科教材の本質をみすえてソフトを開発し提言する。」を目的に研究を進めてきました。特に、本年は、西部地区の地域素材（施設、史跡）を調査し、ホームページの作成を中心に、研究を推進してきました。

社会の高度情報通信社会への進展とあいまって、情報機器の学習環境への整備は、急速に進展してきていますが、学習コンテンツの整備や情報活用能力の育成という点については、遅れているのが現状です。そのような中で、ソフト開発委員会の研究は、西遠地区に根ざした地域素材の開発であり、来年度から完全実施される総合的な学習や情報活用能力を育成する上で支援となるものと確信しています。

ソフト開発に携わった委員の皆様並びに西遠総合教育センターの館長・指導主事・西遠地区各市町の教育委員会・関係機関の御支援御協力に感謝申し上げます。

平成14年3月

ソフト開発研究委員会副会長 原田年康

平成13年度 ソフト開発研究委員会名簿

会 長 武藤 英雄

副会長 原田 年康

ソフト開発研究企画委員会

武藤 英雄 (浜松市立曳馬小学校長)	原田 年康 (浜松市立八幡中学校長)
夏目 稔三 (浜松市教育委員会指導主事)	山下 直行 (浜松市教育委員会指導主事)
小川 雅弘 (浜松市博物館指導主事)	中村 重俊 (浜北市教育委員会指導主事)
浅田 一郎 (湖西市教育委員会指導主事)	

専門委員会

佐藤 拓伸 (浜松市立富塚小学校)	山本 昌美 (浜松市立中部中学校)
山下 章子 (浜北市立赤佐小学校)	白井 伸博 (浜北市立亀玉小学校)
鈴木 右二 (湖西市立鷺津小学校)	伴 雅典 (湖西市立湖西中学校)
高須 昌直 (舞阪町立舞阪小学校)	藤田 政敏 (舞阪町立舞阪中学校)
大石 好廣 (新居町教育委員会生涯学習課)	倉田 啓司 (雄踏町教育委員会社会教育課)
徳永 一臣 (雄踏町立雄踏小学校)	望月 実 (細江町立伊目小学校)
杉山 貴和 (細江町立細江中学校)	沖田 真弓 (引佐町立金指小学校)
近藤 仁志 (引佐町立川名小学校)	山村 健一 (三ヶ日町立三ヶ日西小学校)
黒柳 裕之 (三ヶ日町教育委員会学校教育課)	

事務局 (西遠総合教育センター)

伊藤 彰 (館 長)	高山 浩 (館長補佐)
高橋 勝 (指導主事)	杉本 泉 (指導主事)
内山恵美子 (指導主事)	仲村 篤志 (指導主事)

研究委員会の構成

市町等	教育行政関係	小・中 校 長	小・中 教 頭	小・中 教 諭	合計
浜 松 市	指導主事 3	2		2	7
浜 北 市	課長補佐兼指導係長 1			2	3
湖 西 市	指導主事 1			2	3
浜 名 郡	課長補佐 1 主任 1			3	5
引 佐 郡	主任 1			5	6
西遠総合 教育センター	館長 1 館長補佐 1 指導主事 4				6
合 計		14	2	14	30

平成13年度ソフト開発研究委員会報告書

発行 ソフト開発研究委員会

事務局 西遠総合教育センター

〒432-8021

浜松市佐鳴台三丁目31-2

TEL (053)448-1131

FAX (053)447-7994

E-mail : seien@mb.hamamatsu-szo.ed.jp

発行日 平成14年3月

※当委員会作成の仕様書等の無断使用を禁止します。

